

リテラシーテスト

2023.9.25

次の文が成り立つように、() をそれぞれひらがな1文字で埋めなさい。ただし、「は」を使
ってはけません。

アジア東部()は、モンスーンという季節風()影響()によって、はっきりとした四季()
みられる。

これは、リテラシーテストのサンプル問題である。21世紀のインターネットとAIを含む機械
支援を受けられる世界にありながら、何らかの読解記述力(リテラシー)不足が原因で、その恩恵
を十分に得られない人々を対象としたリテラシーを診断するテストである。高校生、大学生、社会
人の受験を前提にしている。主に、事実に関する文章を正確に書く力、インプットした知識を他の
人にもわかるように出力できる力を測ろうとしている。

上記の問題は、中学1年生の社会の教科書をもとに作成してある。助詞を入れる穴埋め問題であ
る。簡単ではないだろう。以前、助詞の使い方が気になるということはこの紙面で取り上げた。リ
テラシーテストが標準化され、全国で実施されるようになれば、助詞の使い方に関する実態が明ら
かになり、その対策も講じられるようになるかもしれない。

社会の教科書から、もう1問である。

世界の人口()約60%()アジア()住んでいます。急速()人口の増加()よっ
て、都市では住宅不足()交通渋滞などの都市問題も発生しています。

次は、中学1年生の理科の教科書からの問題である。

入射角()一定以上()大きさ()なると、光は境界面()通り抜けること()なく
なり、全ての光が反射する。これを全反射という。

リテラシーテストを開発しているのは、リーディングスキルテストを世に広めている新井紀子先
生をリーダーとする研究グループである。リーディングスキルテストは、200字程度の文を読み、
読む力を測るものである。一方、リテラシーテストは、A4見開き2ページの教科書を読み、文を
書く力を測るものである。両者は、AI時代を生きていく上で、共に必要なスキルとなる。読む力
と書く力は車の両輪である。

助詞の使い方に限らず、書く力がつかなければ、必要に迫られたときに、教科書やネット上の確
実な資料、さらには論文などを参照しながら、自分で勉強するということができなくなる。すなわ
ち、自学自習ができなくなる。これが問題である。学校教育に責任があるのは明白である。